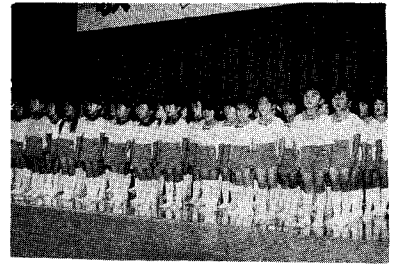
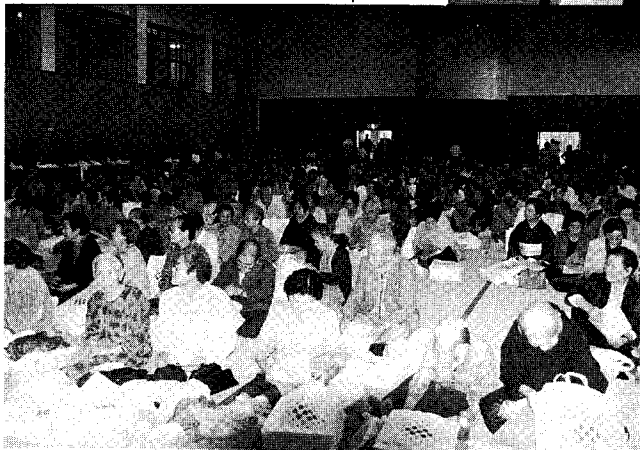


あかひけ 11

発行/赤池町役場 〒822-1193 福岡県田川郡赤池町大字赤池970番地の2 ☎0947(28)2004 編集/総務課 No. 430

祝敬老 長寿万歳



赤池町の敬老会が、10月15日、町民会館で行われました。町内の70歳以上の方を対象に、毎年1か月おくれで開催していますが、今年度の該当者は1,618人、参加者770人でした。式典では最高齢者の皆川ヨ子さん(106歳)を始め、県・町より表彰や記念品が贈られました。式典後は館内で会食とアトラクションが行われました。四保育園のかわいい歌声や民謡、日舞、中国太極拳等で会は盛り上がりましたが、毎年恒例になっている町役場の“余興”で最高潮に達しました。

今年は、忠臣蔵の「討ち入り」。大石内蔵助に水永町長をはじめ、町三役や議員の方等、みことな芸の披露でした。尚、この敬老会を裏で支えていただいたボランティアの方々、扮装や化粧をしていただいたスタッフの方には、大変ご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。来年も元気な笑顔で、再会を楽しみにしています。健康に十分ご留意下さい。

颯 颯

電車やバスの中、あるいは講演中に幼児がはしゃいだり、赤ちゃんがぐずって泣いたりすることがあります。又、レストランで子どもがそそぐをしたりと、こんな光景におつかつたことがあるのでは…。こんな場面で、あなたは

どんな顔、どんな目で、その子や子どもを連れている人を見ているか。顔をしかめてはいませんか。非難の目を向けてはいませんか。大勢の人が集まる場では、他人に迷惑をかけないように、しつめていくことが、子どもを連れている人のモラルとして、当然求められることです。その一方で、彼らを取りまく周囲の人にも、あたたかい目を求めたいものです。▼イギリスでは、子どもを連れている人を、次の世代を育てている、国の宝を育てていると認めるそうです。それもごく自然に。例えば、小学生くらいの子が幼い子どもの前では膝を折って、やさしく話しかけたり、老女が手押車を止めて「かわいいいわね」とほほえみ、声をかけてゆくそうです。▼果たして私たちの周囲はどうでしょう。子どもだけでなく、高齢者の方にも温かなまなざしと支援の心くばりが自然に行えるようになりたいものです。▼子どもや高齢者をやさしく大事にすることが、まちづくりの基本なのです。

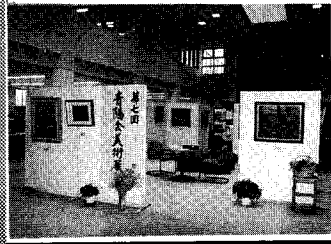
大健闘！ - 田川郡身体障害者体育大会 -



田川郡内、8町1村による9町村の田川郡身体障害者体育大会が、10月25日、赤村コミュニティ広場で行われました。

得点競技9種目中3種目に1位になり、よく健闘したのですが、結果（総合得点39点）総合7位の成績でした。尚、敢闘賞を受賞しました。

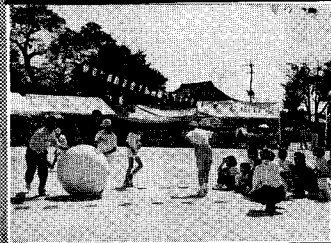
優勝は糸田町、来年は大任町で開催されます。来年こそ、優勝旗を町へ持ってかえってほしいです。



新庁舎で「青陽会美術展」

10月12日～16日まで、役場1階の町民ホールで、第7回青陽会の美術展が行われました。

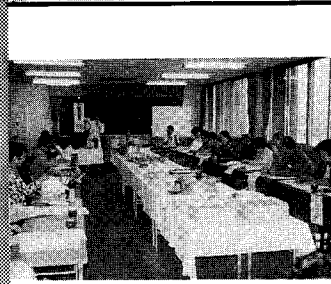
昨年までは町民会館で催していましたが、今年は来庁者の見学もあり、大盛況でした。



さわやかな運動会

町内、小・中学校の運動会が、9月、10月に各々行われました。

今年は天候が心配されましたが、運動会の日には、さわやかな天気にも恵まれ、おもしろい、すがすがしい汗を流しました。



糖尿病に気をつけて

10月12日、町民会館で糖尿病に対する講義と昼食会がありました。

赤池町立病院の主催で行われましたが、定期的にいろんな学習会を開いています。

この日は、バイキング料理で皆さんにっこり。

MY TOWN TOPICS

まちのわだい



小学校で「お母さん」が絵本の読み聞かせ

10月13日、市場小学校の1年生を対象に絵本の読み聞かせを行いました。

先生とは違って「お母さん」の授業とあって一味違った学習でした。みんな、一生懸命聞いてましたヨ



郵便局で展示会

9月25日から10月9日まで、赤池郵便局で上野・市場小学生的の作品による「私のアイデア貯金箱」が開催されました。

一つ一つが創造性にあふれ、すてきな展示会でした。郵便局では、今後もいろんな展示会を企画するそうです。その時は、お立ち寄り



小さな町の大きな音楽会

10月25日、同和対策中央研修所で「ふれあいコンサート」が行われました。

町内小・中学校を始め、12団体が参加。文化の香り高い音楽会でした。

	第1号被保険者	第2号被保険者
対象者	65歳以上の人	40歳以上65歳未満の医療保険に加入している人
給付の対象者	<ul style="list-style-type: none"> 寝たきり・痴呆などで入浴、食事などの日常生活動作について常に介護が必要な人 家事や身じたく等の日常生活に支援が必要な人 	初老期痴呆、脳血管障害など、老化にともなう病気によって介護等が必要となった人
保険料	所得段階に応じて市町村ごとに設定 (平成12年度全国平均1人あたり月額2,500円程度) <平成7年度価格>	加入している医療保険の算定方法に基づいて設定
保険料の支払方法	<ul style="list-style-type: none"> 年金額が一定額以上の人は年金から天引き それ以外の人は市町村に個別に支払い 	医療保険料と一括して支払い

介護保険制度がはじまります

平成12年4月1から

介護保険制度は、介護を社会全体で支え、利用者の希望を尊重した総合的なサービスが安心して受けられる仕組みを創るものです。

町内に住所を有する65歳以上の人を第一号被保険者、40歳以上65歳未満の医療保険加入者を第二号被保険者と規定しています。

保険料はすべての人が負担します。ただし、一号と二号被保険者とは算出方法が異なり、所得によって高くなったり低くなったりします。

なお、現在、田川地区または県下でこの事務処理の全部または一部を広域でできないか、検討が進められています。

受付は、来年10月頃から始まります。

明日のあなたを考えると... 年金はあなたが主人公です。



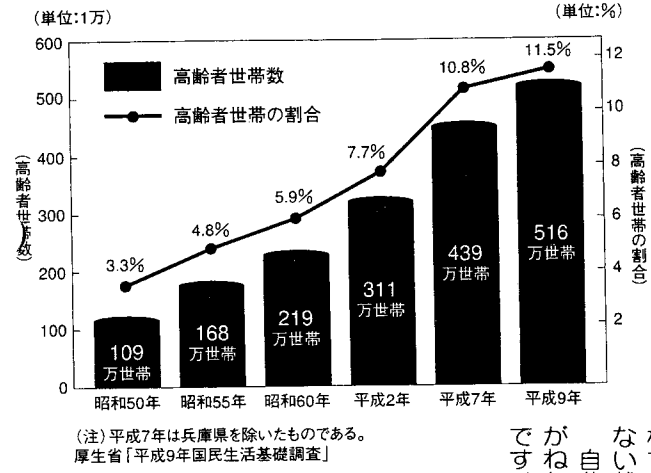
年金のことでお話すると... 自分は何歳まで生きるかわからないので年金は払いませぬ。今生活するのが精一杯で老後のための年金まで支払えない。

年金があるおかげで子供に迷惑をかけず、気がねなく生活できる。年金を受けている人は、みんな顔が楽しそう。そこで年金について、少し話をお聞きください。

「このようなことをお聞きする一方で、次のような声も聞こえます。」

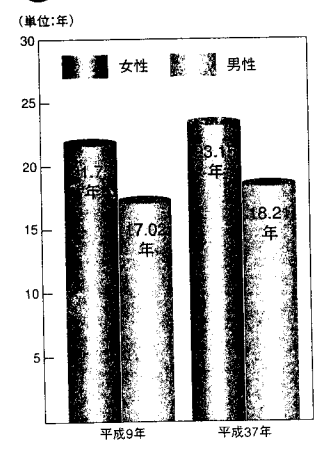


表1 世帯類型別にみた高齢者世帯数及び全世帯に占める高齢者世帯の割合の年次推移(推計数)



(注)平成7年は兵庫県を除いたものである。厚生省「平成9年国民生活基礎調査」

表2 65歳時の平均余命



(注)平成9年は「簡易生命表」による。平成17年は「国立社会保障・人口問題研究所」による推計値。

自分の人生です。人に気がねなく生活したいですね。

杯で親への仕送りもままならない状態なのでしょう。自分の人生です。誰にも気がねなく生活を送りたいものです。

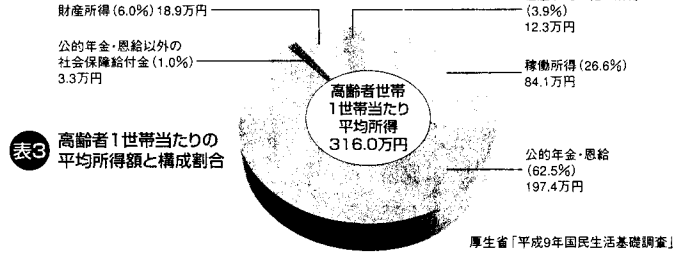


表3 高齢者1世帯当たりの平均所得額と構成割合

12月4日から10日まで『人権週間』です。

人権週間は、「世界人権宣言」が一九四八年(昭和23年)12月10日に国連で採択され、これを記念して定めたものです。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、誕生以来、世界各国の憲法や法律に取り入れられるなど、世界の人々の人権擁護のために大きな働きをしてきています。

人権とは、一口でいえば、私たちが、社会生活において幸福な生活を営むために必要な固有の権利であり、この権利は、日本国憲法によって、すべての国民に保障されています。

私たちは、基本的人権を互いに尊重しあうとともに、それを自分たちの力で大切に守り育てていかなければなりません。

しかし、現実には、この権利を「勝手」や「きまま」とまちがえて、他人の言うことは少しも聞かず、自分だけの意見を主張したり、勝手な行動をとったりする人がいるため、他人の権利が侵害される事件が起きています。

お互いの人権を尊重しあえる社会にするために、福岡法務局・福岡県人権擁護委員連合会では、様々な人権啓発活動を展開します。